

# 診断京都

(題字 橋口会長筆)



このパンフは(社)中小企業診断協会京都支部が発行しております

## 京みどころ



(植田光雄, 中野善蔵)

### 夏越しの大祓

夏越の祓とは、6月晦日(30日)の大祓のことである。古歌にも歌われている通り、梅雨の最も悪い季節を越えて不祥を除去し、猛暑を無事にすごして秋に備えること、また邪気を払い罪穢れを放逐して心身の清浄を回復することを目的としている。

この上賀茂神社(北区上賀茂本山)では古伝にもとづいて「茅の輪」をつくり、これをくぐって寿命長久を祈る神事が行われる。

## 目次

〈京みどころ〉 夏越しの大祓	(1)
〈あいさつ〉 組織力の強化と職域の拡大	(2)
〈提言〉 生涯労働の再設計を	(2)
〈情報〉 円高と京都企業	(3)~(4)
〈論文〉 これでも役に立つのか、資金繰りの実務書	(5)~(7)
〈地場産業〉 伏見人形	(8)
〈京都支部だより〉	(9)
〈会員の頁〉	(10)
〈企業の頁〉	(11)~(12)



☆社団法人中小企業診断協会京都支部は、中小企業診断士で作っている団体で、京都府内の各分野で活躍している約90名が加入しています。

☆中小企業診断士とは、通商産業大臣の認定を受けて登録している、わが国唯一の公的資格を有する経営コンサルタントです。

あいさつ

## 組織力の強化と職域の拡大

——就任のごあいさつ——

(社)中小企業診断協会京都支部

支部長 黒川 倉市

私は去る5月16日開催の当京都支部第27回通常総会選任理事の互選によって、支部長に再選せられ、就任いたしました。

微力のもとより、且つ又、この期に及んで私ごとき老骨の出番ではありませんが、このたびの中小企業診断士登録制度の改正にあたって、当京都支部としてスムーズに対応できる準備体制づくりの経過的事情等も考えて、不肖をも顧みず、引き続き大任をお受けした次第であります。今後とも関係公共機関のご指導並びに役員諸賢及び会員諸氏のご支援、ご協力によって重責を全うしたい所存であります。

既にご承知の如く、わが京都支部の事業活動は、関係部署先生方の熱心なご尽力により、お蔭でますます活性化し、大きな成果を収めつつあるものと確信しております。

しかし、いっぽう予ねてから、支部の組織力強化の必要性を強調し、その対策上まづは非会員診断士

の協会加入促進に力を注いでいますが、未だ十分ではなく、これに加えて去る3月隣接滋賀県における新支部の設立に伴い、会員の移籍による当京都支部への影響は少からず、このまま推移すれば、今後における経済面の運営並びに活発な事業活動の推進を妨げないか。聊か懸念を覚え、抜本対策の急務を痛感しております。

さて、最近新規登録診断士の各支部への加入動向に注目すれば、本人の勤務先もしくは住所地とは無関係の所属配置状況を散見いたしますが、このことは当然に支部組織の強化に繋るものであり、適正な取り扱いを要望したい処であります。

これを要するに、私は重ねてここに、わが京都支部組織力の強化と職域の拡大に全力投球し、課せられた使命を任期をその実現に賭ける所存でありますから、今後とも格段のご鞭撻とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

提言

## 生涯労働の再設計を

現在の労務政策は高度成長期に作られたものであり、しかも職務分析、資格制度、人事考課、教育訓練等が関連なしに実施されているのが実態である。折角の制度が活用されず、むしろ不信感さえ持たれている。低成長高齢化という条件の下、社員の教育、処遇をどうするか、広い視野に立った生涯ビジョンの再設計が望まれるところである。

平均寿命が延びるということは、人間の価値つまり能力発揮や就業期間が延びるということではなければならない。従って定年延長は社会的要請でもあり、社会福祉の主旨にも合致する。勿論価値充足のあり方は個人個人で異り標準化されるものではないが、自己主張、自己変革が積極的にできるような環境作りがされなければならない。終身雇用制、高齢化の下で、ハイテク化、情報化する新しい環境にどう対応して行くか。一様に一定の時点で頭打ちさせて意欲を減退させるよりも、実態に促した能力開発、活用体制をつくり出す努力が必要となる。さてそこで能力開発、仕事の充実を意図した人事政策はどん

なものであろうか。

### 1. 計画的なジョブ・ローテーション

若年段階からの多能化。目先の仕事で使い果して再教育の機会を失うな。

### 2. 積極的な自己啓発を支援する体制作り。

広範囲の職能を重ねる事による相乗効果を期待する。

### 3. 専門職制度の位置付け、見直し。

高度な知識、技能を持つ職位として管理職以上の位置付けをする。

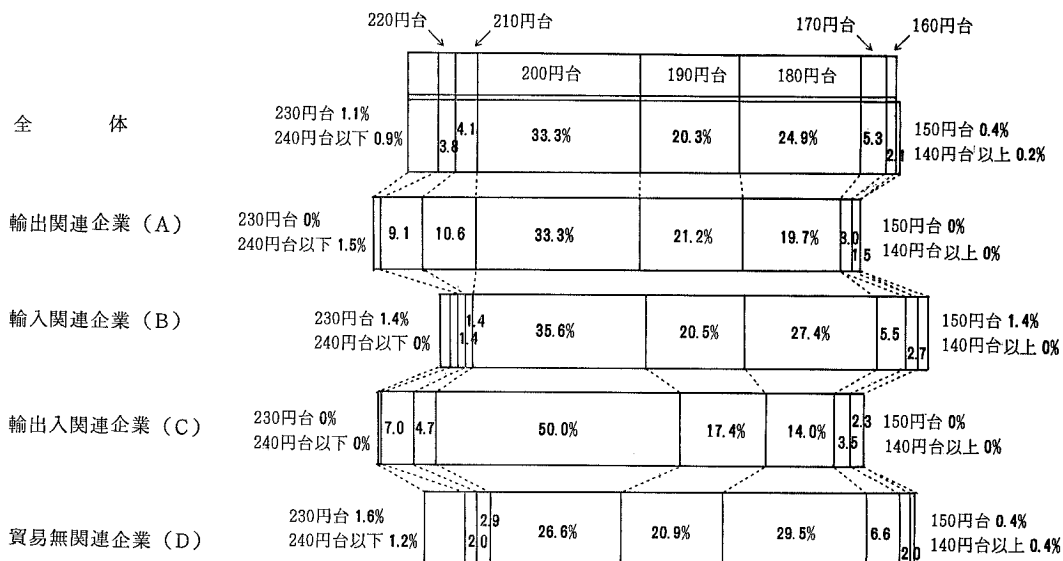
以上目新しいものではないが、夫々の企業共意識としてはあっても実行が伴っていない。

人事管理は経営側と従業員側との事情に沿って調和の上に成り立つものである。経営の主体が人間である限り、その調和は十分に可能であると見るべきであろう。それにも増して必要な事は、生涯生活の中で各個人個人がどう自己啓発し変革していくかという自覚と適切な選択が最も必要な条件だと考えられる。(原納 昭)

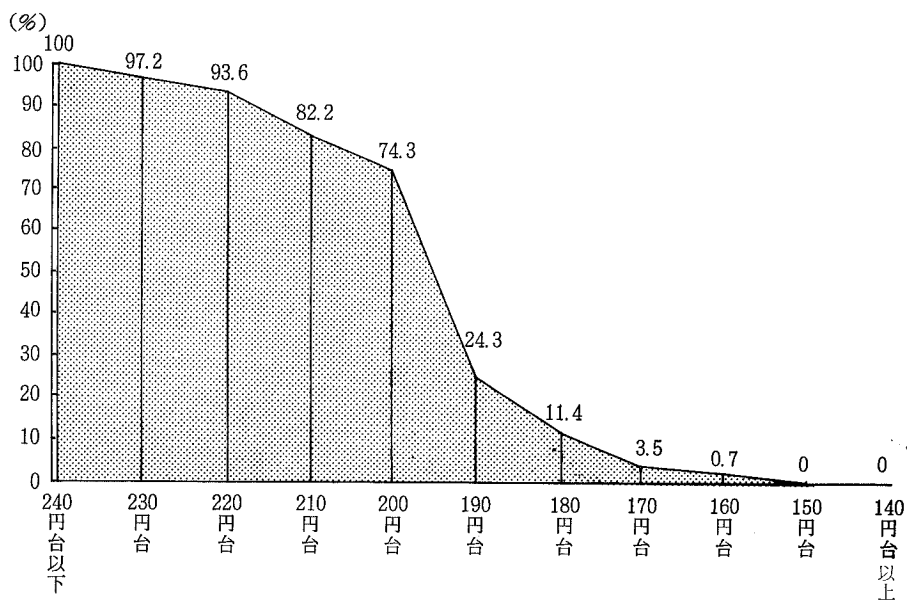
資料・情報

# 円高と京都企業

## 1 当面妥当とする円相場



## 2 輸出採算レート (輸出関連企業について)



(注) ① 企業の割合、無回答を除く  
 ② 各レートの回答企業数の上位レート分を累計し、その割合を算出して作成

(4) 診断京都

3 円高対策として希望する施策

1 適正水準での為替相場の安定化

		(%)
全体	56.1	
A	74.2	
B	46.5	
C	65.1	
D	50.6	

2 企業減税の実施

		(%)
全体	43.0	
A	28.8	
B	54.9	
C	43.0	
D	43.3	

3 公定歩合の再引き下げ

		(%)
全体	39.9	
A	56.1	
B	39.4	
C	41.9	
D	34.8	

4 社会資本投資の促進

		(%)
全体	15.8	
A	12.1	
B	21.1	
C	11.6	
D	16.7	

5 低利資金融資制度の拡充

		(%)
全体	14.0	
A	10.6	
B	9.9	
C	8.1	
D	18.5	

6 政府規制の緩和

		(%)
全体	10.8	
A	7.6	
B	9.9	
C	8.1	
D	12.0	

(注) 無回答を除く

4 円高に対する企業の対応策

1 コスト削減・合理化

		(%)
全体	56.6	
A	72.3	
B	53.6	
C	61.2	
D	50.5	

2 新製品・新分野への進出

		(%)
全体	38.6	
A	51.6	
B	28.6	
C	40.0	
D	36.7	

3 国内市場の開拓

		(%)
全体	36.1	
A	37.1	
B	35.7	
C	34.1	
D	36.7	

4 現地生産など海外投資の積極化

		(%)
全体	25.1	
A	14.5	
B	23.2	
C	24.7	
D	29.1	

5 海外市場の開拓

		(%)
全体	7.5	
A	11.3	
B	3.6	
C	8.2	
D	7.1	

(資料出所)

「円高に関する調査結果報告書」昭和61年3月 京都商工会議所  
(注) 府内469企業61年2月28日～3月25日の回答

本稿は上記資料よりグラフ化して作成した。但し、見出しは一部変更。

(奥平恒巳)

## これでも役にたつのか資金繰りの実務書

常 松 明

資金管理と利益管理は車の両輪にたとえられ、財務管理のうちで最も重要な課題である。さて本題に入る前に利益管理について少しく付言したい。

利益管理の一環として、中小企業においても月次決算の励行により、毎月始め（できれば5日頃まで）に前月の決算を求めて、次月以降の経営の指針に供したい。概して中小企業では3ヶ月くらいに一回なればましな方で、あるいは半年に一回、はなはだしいのは年に一回税務申告のための決算をして、管理会計の原点を逸脱している企業が多いのは会員諸兄ご存じの通りと思う。そしてこの月次決算が後述するように資金繰り（資金管理）で売上原価の算出に影響する。ところが利益は本質的には資金とは無関係であり、元来売上収入と利益と資金の三者には相関関係はない。これを関連あるものと錯覚することによって、世に倒産の悲劇が絶えない。

倒産企業の半数近くが黒字倒産と言われるゆえんである。また「帳面合って銭足らず」という古諺もこれを意味する。申すまでもなく、これは固定資産への過大投資や売上債権・在庫品の膨張等資金の運用の拙劣が原因であるが、ここに資金管理、とくに資金繰り表の記録が必要不可欠となり、企業の成敗を決するポイントとなる。これもご承知のことであるが、なり行き上整理すると資金管理表として代表されるものは資金繰り表・資金運用表・資金移動表で常時進行をはかるのは資金繰り表である。ここでは、中小企業の資金繰り実務の指導の第一線にあるものとして、平素考えていることを申述べたい。資金繰り表を整理すると、まづ実績資金繰り表と予定（計画）資金繰り表に区分され、予定資金繰り表は月次予定表、中期予定表、長期予定表に分かれる。中期表は数ヶ月（手形サイトより一ヶ月多く）、長期表は通例一ケ年を見通すが、年次経営計画を樹てて、見積損益計算書・見積貸借対照表を作製してかかるとベターである。月次予定表は先述の通り月初に作製する。資金の変動の激しい企業や、やり繰りの厳しいところでは5日・10日・15日・20日・25日・月末の6区分をして5日ごとに増減の結果及び金融収支（後述）の処置について記入しなければならない。実績資金繰り表も重要である。予定（計画）表をつくるためには過去の実績資金繰り表が不可欠の参考資料となる。月次表・中長期表ともに過去の記録を整備しておけば、予定の抽出と比較対比することにより立案の重要な資料となる。

さて資金管理とくに資金繰りの著書を試みに丸善で検索してみると、流石に企業の死命を制する資金管理だけあって、おびただしい書籍が出ているが、実務からみて如何かと思われるものが多い。学者のものはさておき、実務家といわれる人の著書においても本人が果して運算しているかどうかと疑いたくなるような不便なものが多い。まづ先述した5日ごとの区分法は資金繰りの忙しい会社では月末に収支つぐなっても、月中でショートすることもあり必要と思われるが、ここまで敷衍している著書はまづない。ただ資金繰り表の形式を説明するのみで、実務例を示せばこの問題にふれざるを得ないと思われる。ご承知の通り、資金繰り表は損益計算書・貸借対照表と共通している。営業収支は損益計算書の内容、金融収支（財務収支）は貸借対照表の内容から来ている。営業収支をホームグラウンドにたとえれば、金融収支は応援団ともいべき存在で臨時処置で、ホームグラウンドである営業収支で短期借入金は速にカバーされなければならない。従って資金繰り表においても営業収支と金融収支は別段記入が必要と思われる。金融収支は手形割引・借入金・借入金返済に代表される。繰越高に営業収入を加え営業

(6) 診断京都

支出を減じて現金過不足を算出して、不足の場合に借入金の出動ということになる。予定資金繰り表の場合、月次・中期・長期のいずれの場合でも、実務にたずさわればこの方法をとらざるを得ない。ところが何れの著書も営業収支と金融収支を区分せず、収入と支出の欄のみで、手形割引・借入金は収入の段の末尾に入れ、借入金返済は支出の段の末尾に記入して、理論上のつじつまを合わせている。まれに借入金返済のみを支出に入れ、借入金と手形割引を別段記入して首肯されるが、殆んど著書は営業収支と共に混記している。収支の理論からみれば誤りとは言えないが、実務としては実際に筆を執ればたちどころに困る。本来、繰越と営業収支で収支をつぐなわなければならないが、時により不足することがあれば不足分の調達が必要となる。一見してとるに足らぬような簡単なことに思われるが、実務をやってみれば解る。診断士U氏の著書ではさすがに営業収支と金融収支を区分しておられるが、営業支出の次に現金過不足の欄がないのは不便である。なお受取手形や支払手形は現預金ではないから（ ）でかこんで区別を要する。

筆者の指導している卸売企業では営業管理者も月次表を所持して、売上回収を経理担当者と連絡をとりながら自ら記入して、常に予定と実績を対比して営業部員の回収指揮にあっている。経理担当者のみならず、営業に活用されて始めて意義があるものと思われる。企業の業種によって資金繰り表の項目も変わってくるが、卸売業の月次予定実績表を最終頁に掲げた。月末に差異分析を行い反省を重ねれば更に向上するであろう。月計の場合に、最下段の現預金残高・(受取手形残高)の下段に該当月の売上高・仕入高・借入金残高の記入欄を設けておけば予定を組むときに便利である。

次の問題は営業収入の主力である売上高と収入時期の予測及び営業支出の主力である仕入高と支払時期の予測である。卸売業等では月末じめで売掛金残高・買掛金残高を算出するので月次予定の場合は容易であるが、数ヶ月の中期や一年の長期の場合はこの予測は重要な課題となる。多くの著書では、売上収入の場合、売上債権の回転期間により収入時期を予測する。なかには売掛金・受取手形・割引手形・裏書譲渡手形を包含して回転期間を求めて収入時期を予測する。仕入債務もまた同様である。実際に自ら資金繰り表を書いて見ればこの方法でやれるであろうか。手形割引・借入金も現金過不足の予測の結果実施が決まるのである。また中期予測等の場合について、ある著書では見積損益計算書を作成すると便利であると言っている。お説の通りであるが、損益計算書より予定資金繰り表に到る実務の経過を説明していない。しかも対象はプロではない。不親切と言わざるを得ない。筆者は主として小売業と卸売業の指導に当たっているが、利益管理のために年3回乃至4回(中には毎月もある)在庫品棚卸を励行して頂いている。売掛金回収(現金・受取手形)は季節指数による売上高実行可能目標の設定により予測ができるので、これに棚卸高が解れば、売上原価・仕入高が算出される。次の棚卸の月までは前の売上原価率によって算出して行く。年に数回棚卸を行い売上原価率を算出するので、これを実績資金繰り表の月次計の下段に記録して行けば、一年の長期表作製の時も仕入高の算出は容易である。営業収支・金融収支の細目の予測は過去の実績表を参考にして算出されるので、月次予定実績資金繰り表・予定実績差異分析表・月末合計欄の各月別実績表を長期保存する必要はある。

以上紙数の都合上、舌足らずの概説に終ったが、申し上げた通り、世に出ている解説書にも実務の参考としては如何かと思われるものが意外に多い。

7 月 予 定 実 績 資 金 繰 表

科 目	日 別	予 定						実 績					
		7/5	10	15	20	25	E 計	7/5	10	15	20	25	E 計
前月繰越 現預金④ (受取手形)													
営 業 収 入	現 金 売 上												
	売 掛 金 回 収												
	(受取手形回収)												
	手 形 期 日 入 金												
	そ の 他												
	小 計 ⑤												
営 業 支 出	買 掛 金 支 払												
	手 形 期 日 決 裁												
	(支払手形支払)												
	(受手裏書譲渡支払)												
	人 件 費 支 払												
	営 業 費 支 払												
	支 払 利 息												
	そ の 他												
小 計 ⑥													
④+⑤-⑥現預金過不足													
金 融 収 支	手 形 割 引												
	借 入 金												
	△借入金返済												
現 預 金 残 高													
(受取手形残高)													

## 伏見人形について

原 納 昭

伏見人形は稲荷山の植土で作った最も古い郷土玩具であり、全国数ある土人形の中で伏見人形の系統をひかないものはないといわれる程、我国土人形の元祖である。その由来、製法等について紹介すべく六代目「丹嘉」窯元・大西重太郎商店を訪ねた。稲荷大社鳥居前本町通りを北へ約5分、昔のままの店構えて若店主が心良く作業場、原型倉庫等を案内された。

伏見人形の発生については確固たる定説はないが、最も古い物は天正3年(1575)記銘の物といわれる。豊臣秀吉が伏見城築城に当って播州や河内から多数の瓦職人を徴集した。伏見城はやがて取毀されたが、瓦職人の優れた技術が伏見人形に伝承された。伏見築城も大仏造営も一段落し、世の中が落ち着きを取り戻した時期に人形作りが本格化し、江戸化政期には30数軒の窯元が軒を並べたといわれる。

殊に稲荷大社が家運隆盛・商売繁昌・五穀豊穡の神として崇敬を集め、全国から参詣者が跡をたたず、稲荷詣りの土産物として持ち帰えられたらしい。伏見から淀川を経て全国に送り込まれた。地方で真似て作ることを奨励した藩もあり、全国に影響を及ぼしたといわれている。

製法を紹介すると、現在は滋賀県信楽町の粘土を原料とし、素足と手で何回も何回も踏みつけ押しつけて練土を作る。この練土を石膏で作られた型の内面に指で同じ厚みになる様に押しつける。相当の力で押しつけないと表面にムラや皺ができる。丁度鯛焼のように表裏二型を合せて一体とし、合せ目に残った土を削り取る。数日間天日乾燥した後窯に入れる。昔からの伝統を守ったマキ窯で、3千個程の人形がぎっしり詰め込まれる。温度約800度、凡そ10時間冷却をまって窯出しされる。適当に空気抜きがないと中の水分が膨脹して砕けるし、火力が弱ければもろくなるし、逆に強過ぎたり、焼ムラがあると彩色もできない不良となる。彩色は膠で溶いた胡粉と泥絵具で絵付けされる。すべての工程が経験と熟

練がないとできないが、殊に顔描きは最も大切な工程で専ら店主が一つ一つ描く。眼がかかると人形に魂が入ったように始めて、いかめしい顔、ふき出しそうな顔、子供の顔となって完成する。お稲荷さんの狐や虎、牛、犬等の十二支、七福神、鐘馗、熊と金時等種類も多い。御所人形、嵯峨人形等で代表される京人形の繊細さや、博多人形のようなしよっしゃな人形とは全く違った素朴さが魅力である。

現代は子供が誕生すると五月人形、雛人形等を買揃えて美事に飾り立てる平和な時代だが、江戸時代は伏見人形雛を求めるのが親して精一杯であり、荒神棚に煤で真黒になった布袋人形を並べることで心の落ち着きを覚え、家内安全が守られると考えていた。このような庶民の心情に支えられて伏見人形400年の伝統が続いたのであろう。明治に入って伏見街道を通っての稲荷詣りが過去のものとなり、戦争の影響や統制経済、新しい玩具の登場等で、さしも栄えた人形店も相継いで転廃業し、現在は2軒を残すのみとなった。

京都には国宝、重要文化財等が多く夫々が保護対策が取られているが、伏見人形には何等の対策も取られていない。「丹嘉」一店の努力で技術が伝承され多数の作品、原型が保存されている。

豪華絢爛、精緻を極めた至宝はごく一部の限られた貴族趣味の遺産ではあっても、大多数の民衆には縁もゆかりもない物であろう。伏見人形のように京都の町に生きつづけてきた民衆の遺産、素朴な郷土品にも何等かの保護対策が取られてもよいのではないかという印象を深めた次第である。

## 参 考 文 献

- 「伏見人形の原型」 「丹嘉」発行  
小西重太郎 監修  
京洛おもちゃ考 創拓社 発行  
奥村寛純 著



京都支部だより

○行事・会議等○

61. 1. 1 「診断京都」第35号を発行し、全会員並に関係先に配布した。
1. 21 支部昭和61年新年会を、かに道楽で開備、21名の参加を得て懇親の実をあげた。
2. 20 支部正副支部会議を、かに道楽で開催し、①滋賀支部創立総会について、②経営診断研究会について、③総会日程についてなど協議した。
3. 2 支部監事青柳禎一氏死亡により黒崎副支部長が葬儀に参列した。
3. 25 支部研修会を京都商工会議所で開催し、「円高下の企業経営と暮し向き」と題し、大和証券経済研究所大阪支所長飯尾博信氏からその様相及び見通しを聞いた。(会員出席22名)
4. 18 本部理事会が開催され、黒川支部長、黒崎副支部長が出席した。
4. 25 支部常任理事会を京都府立労働会館で開催し、第27回通常総会の開催及び各議案の原案作成を検討した。
5. 6 支部理事会を京都府立労働会館で開催し第27回通常総会の開催及び各議案を審査し、引続き昭和60年度収支計算書など計算書類について柴垣秀雄監事の監査を実施した。
5. 12 支部正副支部長会を京都支部で開催第27回通常総会運営の細部を協議した。
5. 16 支部第27回通常総会を「京都市職員会館かもがわ」で開催し各議案の審議承認を得たうえ、役員改選を行った(出席53名)。総会后京都府市より来賓を得て、会員懇親会を行った。
5. 21 本部第31回通常総会が開催され黒川支部長が出席、又当支部中野善蔵理事、植田光雄理事が受彰した。
5. 26 支部理事会を「京都商工会議所」で開催し、理事の業務分掌を決定した。
6. 5 昭和61年度診断指導調整推進会議が社会福祉会館にて開催され、黒川支部長が出席した。
6. 9 昭和61年度中小企業診断士登録更新研修会の開催について、実行委員会(1)を開き委員の委嘱、日程、科目、講師、案内方法など協議決定した。
6. 14 事業部担当理事会を京都府立労働会館寿屋内で開き、昭和61年度事業の推進、第1回研修会の開催及び診断京都夏季号の編集について協議した。
6. 25 本部理事会が東京虎ノ門パストラルにおいて開催され、黒川支部長が出席した。同日引続き61年度第1回全国支部長会議が開催された。

なお、期間中経営診断研究会を月例開催した(毎月第2木曜日)。

年月日	回	場所	テーマ
61. 1. 16	15	商工会議所	61年の経営環境について
2. 13	16	社会福祉会館	今後の研究の進め方について
3. 13	17	京都府立労働会館	61年度商工行政予算について
4. 10	18	〃	テーマ別・班別研究に入る ①診断業務マニュアルの作成 ②赤字企業の再建診断 ③土地の有効利用と商圏調査 ④問題別改善提案集の作成
5. 8	19	社会福祉会館	
6. 12	20	京都府立労働会館	

会員の消息

・加入

(第一種会員)

- 西山四郎氏 京都府八幡小松37-60  
(勤務先: 京都中央信用金庫 九条支店)
- 安倉一誠氏 奈良市法蓮佐保田町595-7  
(勤務先: 田辺町商工会)

<他支部より移籍>

(第一種会員)

- 小山田彰顕氏 京都府綴喜郡田辺町松井ヶ丘1の24-8  
(勤務先: 大阪商工会議所)
- 藤原 茂寿氏 高槻市安岡寺町4-9-11  
(勤務先: 立石電機(株) 長岡事業所)

・変更

(第一種会員)

- 山岡正勝氏 勤務先  
所在地: 下京区中堂寺前田町24番地6 パレジット五条 5階505
- 安田 徹氏 勤務先: 税理士・中小企業診断士 安田徹事務所  
所在地: 北区紫野上御所田町11-6

・他支部へ移籍

(第一種会員)

- 鵜飼要氏, 清水章三氏, 福知利之氏, 大谷武重氏, 中村弘氏, 安居梯二氏, 奥村久一郎氏, 野作忠亜氏, 山本善通氏, 北出龍三氏, 廣川領司氏, 吉井英樹氏, 嶋寺英明氏, 深田内蔵太氏 (以上、滋賀支部へ)

・脱退

(第二種会員 府)

- 漆崎雅巳氏  
藤田忠男氏

・死亡

(第一種会員)

- 青柳禎一氏

## 暑 中 御 見 舞

昭和61年盛夏

中小企業診断士

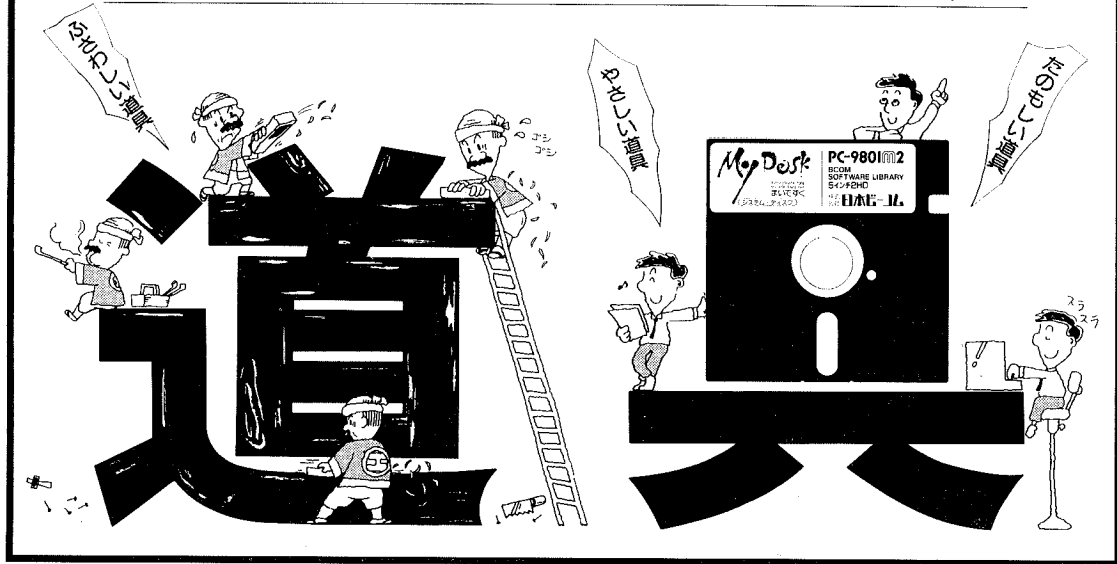
(社) 中小企業診断協会京都支部有志

<p>荒尾 義 晴</p> <p>京都市下京区下魚棚通堀川西入</p> <p>TEL 341-5331(代) 〒600</p>	<p>黒崎 徳之助</p> <p>京都市上京区浄福寺通下立売下る 中務町490-19</p> <p>TEL 801-0501(代) 〒602</p>	<p>中谷 弥太郎</p> <p>京都市下京区東洞院通五条上る</p> <p>TEL 351-8449・2140 〒600</p>
<p>植田 光 雄</p> <p>京都市中京区姉小路通富小路西 入菊屋町565-1</p> <p>TEL 221-1218 〒604</p>	<p>塩内 長 俊</p> <p>京都市北区大宮玄塚北東町1-7</p> <p>TEL 492-7044 〒603</p>	<p>中野 善 蔵</p> <p>京都市上京区西日暮通丸太町下 る四丁目8の2</p> <p>TEL 811-2750・8732 〒602</p>
<p>大木 徹</p> <p>京都市東山区問屋町通五条下る 3丁目</p> <p>TEL 561-6171~4 〒605</p>	<p>品川 弥太男</p> <p>京都市左京区一条寺松原町101</p> <p>TEL 721-4078 〒606</p>	<p>西畑 好彦</p> <p>京都市中京区西洞院通二条上る 薬師町652</p> <p>TEL 231-5207 〒604</p>
<p>大幡 義 夫</p> <p>京都市下京区黒門通五条下る</p> <p>TEL 351-2552・6860 〒600</p>	<p>柴垣 秀 雄</p> <p>京都市北区上賀茂神田町49</p> <p>TEL 781-9596 〒603</p>	<p>原 納 昭</p> <p>京都市伏見区桃山町山ノ下51-29</p> <p>TEL 611-9696 〒612</p>
<p>奥平 恒 巳</p> <p>京都市西京区大枝西新林町6-15-3</p> <p>TEL 331-1204 〒610-11</p>	<p>高木 健 次</p> <p>京都市北区大將軍西町80</p> <p>TEL 463-8877 〒603</p>	<p>堀村 清 蔵</p> <p>京都市下京区西洞院通七条上る</p> <p>TEL 361-4455(代) 〒600</p>
<p>片岡 憲 男</p> <p>京都市中京区丸太町通衣棚西入 玉植町222</p> <p>TEL 256-1880(代) 〒604</p>	<p>たぢ 城 道 雄</p> <p>京都市右京区嵯峨朝日町2の16 幸栄ビル3階</p> <p>TEL 881-2135 〒616</p>	<p>村上 泰 三</p> <p>京都市上京区大宮通下立売上る家 永町769</p> <p>TEL 841-6709 〒602</p>
<p>久保 文 男</p> <p>京都市中京区室町通夷川上る鏡屋町 36の2</p> <p>TEL 231-0403 222-0403 〒604</p>	<p>玉垣 勲</p> <p>京都市西京区川島尻堀町31-6</p> <p>TEL 391-5963 〒615</p>	<p>山口 敏 雄</p> <p>京都市左京区吉田近衛町26の62</p> <p>TEL 761-1514 〒606</p>
<p>黒川 倉 市</p> <p>京都市中京区丸太町通東洞院東入る 藤原ビル</p> <p>TEL 211-6010 〒604</p>	<p>中窪 嘉 邦</p> <p>京都市右京区御室小松野町31の3</p> <p>TEL 462-7497 〒616</p>	<p>和田 忠 儀</p> <p>京都市下京区河原町通六条下る ワダビル</p> <p>TEL 351-7127 〒600</p>

企業の頁

知的生産のための道具づくり-----

大工さんにとって"かな"なら、僕にとっては"まいですく"



# 読み・書き・そろばん・現代版



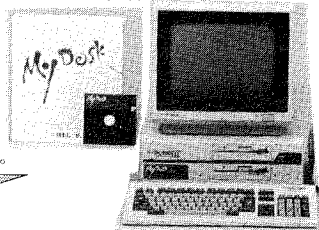
まいですく  
PRODUCTIVITY TOOL  
MY DESK SINCE 1985

デスクワークを一枚のディスクに集約!

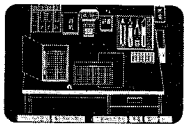
統合化ソフトウェア



PC-9800 シリーズ



今までの机上事務と変わりにやってください。



使いたいものを使いたい時に使うだけ!

- 鉛筆……日常読み書きするデータを記入(消しゴムで消せます)。
- 万年筆……項目名など残しておきたいデータを記入します。
- 用紙……文書用紙と集計用紙の2種類が用意されています。
- 辞書……用紙に記入する漢字、熟語など辞書から引用します。
- ファイル……作成された書類は、すべてファイルの中へ入ります。

文書用紙は鉛筆を使います。

文書用紙

“まいですく”には2つの用紙が用意されています。

集計用紙は万年筆と鉛筆が使えます。

集計用紙

ワープロ

作文能力をもったワープロ

ワープロは使っても文章を作るとなると一苦労。そんな悩みも一挙に解決!“まいですく”は参照、転記機能を使い、「さまり文句集」のなかから言葉を選ぶだけで、簡単に文章ができてしまいます。仕事の内容にあわせ「専門用語集」をどんどん創作してください。

■適応機種と価格

適応機種	メディア	価格
PC9801E-F2-M2	5インチ2HD	¥98,000
	5インチ2DD	
	8インチ2D	

“まいですく”で書類管理

参照  
転記

検索  
集約

表集計

あらゆる計算・集計シミュレーションに

集計用紙上に項目や数値を入れて、自由自在に集計表や各種管理表をお作りください。単なる集計処理のみでなく経営シミュレーションで、意志決定のお手伝いもします。

グラフ

ビジュアルで報告表からグラフ作成

印刷

最大B4判まで縮小可



株式会社 日本びわこ

〒520 滋賀県大津市にの浜3-3-3 ヨシビル3F  
TEL. (0775)26-1390(代)・FAX (0775)26-4135

知的生産のための道具づくり-----  
思考力、創造力、判断力、実行力。成長できる“知的生産”を行うための良伴! “まいですく” “知的生産の道具”…… 知能性豊かな知的生産を可能にし、仕事で成功を導く良伴…… 日本びわこは、知能性を磨き、成長を促しています。

企業の頁

選ばれたコーヒー豆  
力強い“看板”です



小川珈琲株式会社

京都市右京区西京極北庄境町20番地  
電話 (075) 313-7333 (代)

滋賀営業所 滋賀県野洲郡野洲町三上神守田498  
電話 (07758) 8-1147 (代)



営業品目 時計・貴金属・喫煙具・万年筆・  
舶来雑貨・ゴルフ用品・電化製品

本店/二条通河原町西 ☎ 211-3408代  
支店/百万辺電停東 ☎ 781-4608  
支店/京都駅前近鉄百貨店内  
グランマルシェ 2 F



Be Bridal  
**TAKAMI**

Kyoto・Osaka

京都店/京都市下京区五条通河原町西 TEL075(351)7722  
大阪店/大阪市北区浪花町2の25 TEL06(371)7217

小松水産株式会社経営

鮎料理

松水  
しょう すい

滋賀県志賀町北小松  
(0775) 96-0251  
事務所 (0775)96-0122

あとがき

・円高はどこまで高進するのだろうか。

150 円の声は既に出はじめています。当  
面はデフレ対策，長期的には産業構造の調整と，わが国  
経済が抱える大きな課題の中で，企業の環境は厳しい。

・このような時にこそわれわれ経営指導を担当するものとし  
て，企業に希望と意欲とそして正しい指針を与えることが  
大切。

・今年の暑は酷暑が予想されている。会員の皆様方十分ご  
自愛のうえご活躍を期待します。

(編集委員：奥平，植田，高木，中野，原納)

診断京都

No. 36

昭和61年8月1日発行

社団法人 中小企業診断協会京都支部  
〒604 京都市中京区丸太町通東洞院東  
入藤原ビル TEL(075)211-5585

印刷所 真美印刷株式会社  
TEL(075)821-2136(代)